

地域が主役！人づくり・まちづくりの取り組み ～三重県桑名市の支え合い活動～

平成27年4月より6名の生活支援コーディネーターが行政、包括等の関係機関と連携し、地域住民のみなさんとともに活動しております。生活支援サービスの団体も立ち上がるなど、少しずつかたちになりつつあります。

地域が主役！人づくり・まちづくりの取り組み ～三重県桑名市の支え合い活動～



桑名市社協
非公認キャラクター
しゃきょうちゃん

桑名市社会福祉協議会

1. 概要

桑名市は人口約14.2万人、三重県の最北部に位置し、ハマグリや多度大社、ユネスコ無形文化遺産の桑名石取祭などが有名。

桑名市では、平成27年度より桑名市社会福祉協議会に6名の生活支援コーディネーターを配置。

小学校区ごとに設置されている地区社協等に出向き、地域の現状や課題を把握し、地域住民とともに課題解決に向けた取り組みを進めている。



男性6名で活動しています

2. 支え合い活動のはじまり

地区社協主催で「いつまでも住み続けられる地区作り作戦会議」(ワークショップ)を開催。

地域住民の実際のケースをもとに、①地域住民の困りごと、②地域住民でできる解決策、③具体的な活動内容について話し合い、支え合い活動をすすめる第一歩となった。

市社会福祉協議会や行政・地域包括支援センターも参画し、他機関連携で支援を行った。



3. 主な活動団体

① 益世支え愛の会

「地域住民の力で少しでも住みやすい地域にしたい」、「子どもや孫が誇りに思う地域にしていきたい」との思いで地区社協や民生委員など地域住民が協力し合い活動をすすめている。生活支援ボランティア、救急医療情報キットの作成、サロン活動など地域住民のニーズに応じた幅広い活動を展開している。



サロン活動



家具の搬出



幼稚園の送迎

② 精義おたすけ隊

支えあい・助けあいのある精義地区を目指して、地区内のチョットしたお困りごとをお手伝いする有償ボランティア。ゴミ出し・家具の移動・傾聴等を行い、平成29年10月の活動開始からこれまで延べ150件以上活動している。

支援を受けた側が、次は支援をする側になるなど、地域住民が受け手にも支え手にもなり、地域住民全体で活動を進めている。

地域住民が地域にとって**必要**だと思うこと、**やりたい**ことを自分たちのペースで進めている。地域住民のための活動からスタートしたが、会員自身のつながりづくりや生きがい、介護予防になっており、個人・家族・地域すべてに**効果がある活動**となっている。

4. 今後の展望

活動している地域へは、今後生じる課題などを一緒に解決を図り、その他の地域へは、一歩でも前へ進むことができるよう、「地域住民が主役、地域住民のための活動」になるよう支援をしていく。

また、『くわなのふくし活動事例集』を作成することで、活動の見える化を図り、実践者の活動の励みと他地区でも活動を展開していける仕組みをつくっていききたい。

